

東日本高速道路株式会社 北海道支社
支 社 長 堀 圭一

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	入札公告（説明書）、技術評価項目及び技術評価基準、評価項目「トンネル掘削時における供用線の計測に関する提案」における「供用線の計測」とは、計測工Cに関する工夫を求めていると考えて良いでしょうか。 計測工Aや計測工Bの工夫は求めていらないでしょうか。	本工事において、貴社の考えるトンネル掘削時における供用線の計測に関する提案をお願いします。
2	入札公告（説明書）、技術評価項目及び技術評価基準、評価項目「トンネル掘削時における供用線の計測に関する提案」では、計測方法や計測結果の活用方法の工夫を求めており、供用線への影響のない施工方法の提案は求めていないと考えて良いでしょうか。	ご認識の通りです。
3	入札公告（説明書）、技術評価項目及び技術評価基準、評価項目「トンネル切羽の評価区分における効率的な算定方法の提案」の「効率的な」とは、人手や時間をかけないことでどうか、又は確実な算定方法も含むのでしょうか。	本工事において、貴社の考えるトンネル切羽の評価区分における効率的な算定方法の提案をお願いします。
4	特記仕様書10-4 (1) にて、指定の通行止め予定期間内で作業が完了するのであれば計測工Cの追加設置は可能でしょうか。	実施にあたっては監督員と受注者とで協議することとなります。
5	図面④52/79 計測工割付図 (1) にて、天端沈下測定の計測位置がSTA. 1082+54. 249のみとなっていますが、単価表では3箇所と記載されています。 残りの2箇所は、内空変位測定を行うSTA. 1076+80とSTA. 1078+0の2断面と考えてよろしいでしょうか。	設置箇所はSTA. 1076+80、STA. 1078+0、STA. 1082+24. 249の3箇所となります。 設計図を後日訂正致します。